

CASBEE_Sapporo2014v1.2
中央小学校

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体						
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄						評価点	重み係数		評価点	重み係数				
配慮項目	A	B	C	D						評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体					
Q 建築物の環境品質																			
Q1 室内環境																			2.9
1 音環境														3.0	0.15				3.0
1.1 騒音														3.0	0.40				
1.2 遮音														4.0	0.40				
1 開口部遮音性能	T-2相当の仕様													5.0	0.30				
2 界壁遮音性能														3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	L-55相当のスラブ厚と床材													4.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	L-55相当のスラブ厚と床材													4.0	0.20				
1.3 吸音														1.0	0.20				
2 温熱環境														3.2	0.35				3.2
2.1 室温制御														3.8	0.50				
1 室温														3.0	0.60				
2 外皮性能	A													5.0	0.40				
3 ゾーン別制御性																			
2.2 湿度制御														2.0	0.20				
2.3 空調方式														3.0	0.30				
3 光・視環境														3.0	0.25				3.0
3.1 昼光利用																			
1 昼光率																			
2 方位別開口																			
3 昼光利用設備	A																		
3.2 グレア対策														3.0	0.67				
1 昼光制御	A													3.0	1.00				
2 障り基の対策																			
3.3 照度														3.0	0.33				
3.4 照明制御																			
4 空気質環境														3.2	0.25				3.2
4.1 発生源対策														3.0	0.50				
1 化学汚染物質														3.0	1.00				
2 汚染物質処理																			
4.2 換気														3.0	0.30				
1 換気量														3.0	0.33				
2 自然換気性能														3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮														3.0	0.33				
4.3 運用管理														4.0	0.20				
1 CO ₂ の監視														3.0	0.50				
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙である。													5.0	0.50				
Q2 サービス性能															0.30				3.5
1 機能性														3.6	0.40				3.6
1.1 機能性・使いやすさ														3.0	0.40				
1 広さ・収納性																			
2 高度情報通信設備対応																			
3 バリアフリー計画														3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性														3.0	0.30				
1 広さ感・景観														3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース																			
3 内装計画														3.0	0.50				
1.3 維持管理														5.0	0.30				
1 維持管理に配慮した設計														5.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保	塵芥室や適所に掃除用流しを設置													5.0	0.50				
3 衛生管理業務																			
2 耐用性・信頼性														3.6	0.30				3.6
2.1 耐震・免震														3.8	0.50				
1 耐震性	重要度係数1.25倍を採用													4.0	0.80				
2 免震・制振性能														3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数														3.3	0.30				
1 躯体材料の耐用年数														3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B													3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B	マニュアル値:ビニル床シート20年、壁シナベニヤ合板(ウォールナット練付準用)20年												4.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B													3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B	期待耐用年数の長い材料を使用している。												4.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔	B													3.0	0.20				
2.4 信頼性														3.6	0.20				
1 空調・換気設備														3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備	災害時に備え系統分散、飲料水の確保が出来るよう配慮。													4.0	0.20				
3 電気設備	地上階に電源設備(非常用発電機共)を設け、電源車接続で照明点灯可。													4.0	0.20				
4 機械・配管支持方法														3.0	0.20				
5 通信・情報設備	多種ケーブルによる通信の多様化と防災時の通信手段を配慮。													4.0	0.20				
3 対応性・更新性														3.4	0.30				3.4
3.1 空間のゆとり														4.0	0.43				
1 階高のゆとり	1階3.9m、2階以上3.8m													4.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ	472.615/2.382=19.84%													4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり																4.0			
3.3 設備の更新性														3.0	0.57				
1 空調配管の更新性														3.0	0.20				
2 給排水管の更新性														3.0	0.20				
3 電気配線の更新性														3.0	0.10				
4 通信配線の更新性														3.0	0.10				
5 設備機器の更新性														3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保														3.0	0.20				

CASBEE_Sapporo2014v1.2

中央小学校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)											
1 生物環境の保全と創出											
2 まちなみ・景観への配慮											
3 地域性・アメニティへの配慮											
3.1 地域性への配慮、快適性の向上											
3.2 敷地内温熱環境の向上											
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制											
2 自然エネルギー利用											
3 設備システムの高効率化											
集合住宅以外の評価(3a.3b)											
集合住宅の評価(3c)											
4 効率的運用											
集合住宅以外の評価											
4.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
集合住宅の評価											
4.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
LR2 資源・マテリアル											
1 水資源保護											
1.1 節水											
1.2 雨水利用・雑排水等の利用											
1 雨水利用システム導入の有無											
2 雑排水等利用システム導入の有無											
2 非再生性資源の使用量削減											
2.1 材料使用量の削減											
2.2 既存建築躯体等の継続使用											
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用											
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用											
2.5 持続可能な森林から産出された木材											
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み											
3 汚染物質含有材料の使用回避											
3.1 有害物質を含まない材料の使用											
3.2 フロン・ハロンの回避											
1 消火剤											
2 発泡剤(断熱材等)											
3 冷媒											
LR3 敷地外環境											
1 地球温暖化への配慮											
2 地域環境への配慮											
2.1 大気汚染防止											
2.2 温熱環境悪化の改善											
2.3 地域インフラへの負荷抑制											
1 雨水排水負荷低減											
2 汚水処理負荷抑制											
3 交通負荷抑制											
4 廃棄物処理負荷抑制											
3 周辺環境への配慮											
3.1 騒音・振動・悪臭の防止											
1 騒音											
2 振動											
3 悪臭											
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制											
1 風害の抑制											
2 砂塵の抑制											
3 日照阻害の抑制											
3.3 光害の抑制											
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策											
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策											